令和５年度　第１回由布市総合教育会議　会議録（要約）

会議日時　　令和５年１１月１７日（金）
　　１４時３０分～１６時３０分

場　　所　　由布市役所本庁舎　新館１階　１－１会議室

出 席 者

市長	相馬　尊重	※
副市長	小石　英毅	
教育長	橋本　洋一	※
教育委員	八川　徹	※
教育委員	下村　未央	※
教育委員	髙橋　知佳	※
総務課長	庄　　忠義	
財政課長	大久保　暁	
教育次長兼教育総務課長	日野　正美	
学校教育課長	麻生　久	
社会教育課長	吉倉　芳恵	
スポーツ振興課長	米津　康広	
教育総務課課長補佐	宮本　貴士（書記）	

※印は地方教育行政の組織及び運営に関する法律
　第１条の４による総合教育会議の構成員

議　　事　　由布市学校給食センターについて

要　　旨　　別紙のとおり

由布市長　相馬　尊重

署名委員　下村　未央

由布市学校給食センターについて
要旨（説明を含む） ●由布市学校給食センター職員の現状について ・最適人員は調理員２１名と調理補助員４名の合計２５名体制。この体制は年次有給休暇取得を考慮したもの。 ・欠員補充に応募者が集まらない理由はあるか。 →他自治体より給料が安い可能性があります。 ・夏休み等の期間はどのような勤務体系か。 →通常勤務で調理場や機械設備の清掃を重点的に行います。 ・作業工程やマニュアルは標準的な工程や作業時間を設定し、作業効率の向上を図ってはどうか。 ●設備や機器の修繕状況や今後の計画について ・予防保全の考え方で定期的にメンテナンスを行い、突発的な大規模修繕の発生リスクを下げるべきではないか。 ・施設管理員はどの程度、設備や機器の管理に携わっているか。 →午前中は調理場内の動きを見渡し、午後は敷地内の草刈作業などを行います。大がかりなメンテナンスは夏休みの期間等を利用して行います。 ・重い機材もあるので、サポート器具の導入により調理員の負担軽減を行ってはどうか。 ・エアコン等の労働環境に不具合が出ないよう努めてもらいたい。 ●給食費の徴収状況について ・そもそも学校給食は申込制なのか。 →由布市の場合は私会計ということもあり、不登校や食物アレルギー等の要配慮の状況把握が難しいこともあり、令和５年度から申込書の提出を求めることになりました。また、令和５年度から口座振替の方式にしています。 ・由布市の場合、給食費は私会計です。全国的に見ると、約６割が私会計です。 →集まった給食費で給食の提供を行う自転車操業のような状態にならないよう努めてください。 ●各市町村の状況について ・調理方式は直営方式から委託が主流になる流れになるのか。 →全国的には、自校方式からセンター方式へ、直営方式から委託方式へというのが一般的な流れの要ですが、由布市の場合は直営方式を堅持したいと考えています。

●センター所長の兼務について

・現在、学校教育課長が給食センター所長を兼務している。学校教育課長としての業務だけで多忙なため、対応に困る場合もあります。

→所長としての役割や責任の所在があるのなら、専任の所長の配置が必要ではないか。

→本来であれば管理職を廃止したいところですが、管理職の職員数の不足がない状態になれば、兼務の状況は解消したいと考えています。

●１１月の献立について

・児童生徒に対して、学校給食に関するアンケートを取っているか。

→以前のアンケートでは味付けについて辛口の意見が多かったです。

→学校内のコミュニケーションの中では、総じて評判が良いようです。

→地元産食材やジビエの使用もあり、特色のあるメニュー展開なっています。

●調整（まとめ）

・由布市の子どもたちに安全でおいしい給食を提供するために、給食調理は直営方式の形で続けていきたい。

・調理員の処遇改善については、来年度以降進めていきたい。